

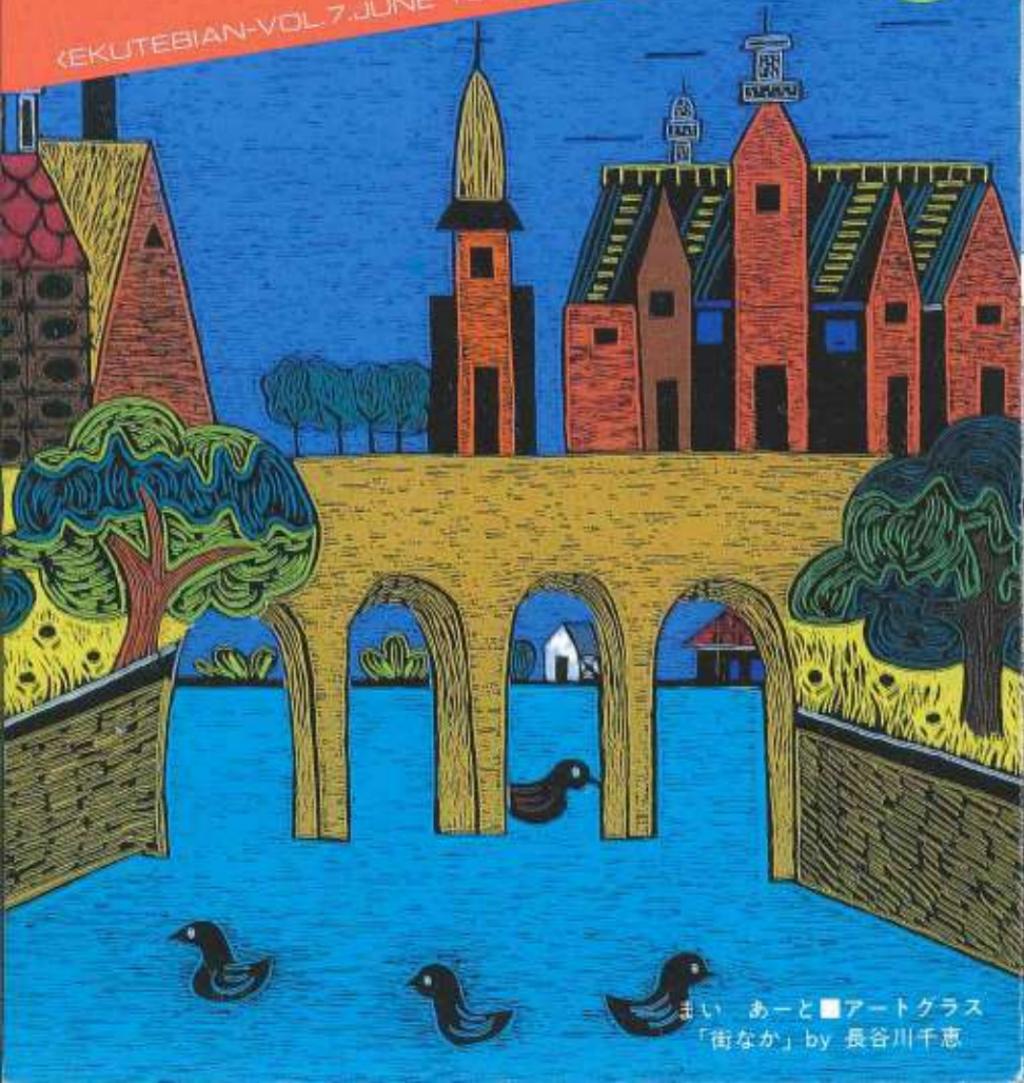
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくとびあん

(EKUTEBIAN-VOL.7.JUNE 1990-EKUTEBIAN)

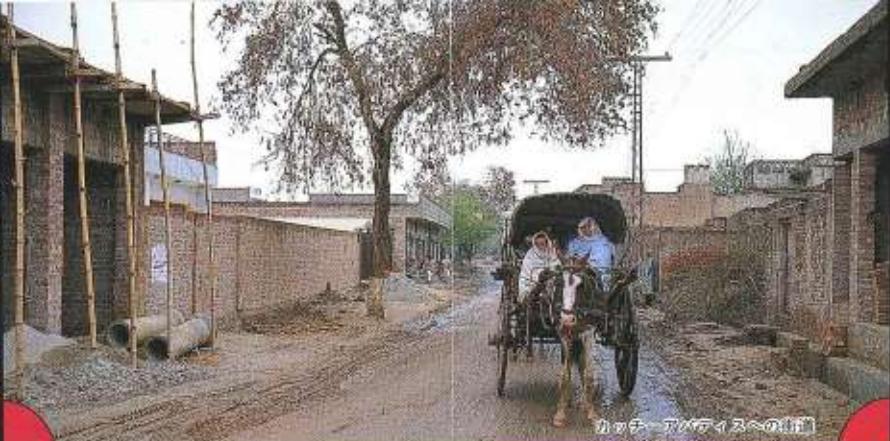
6



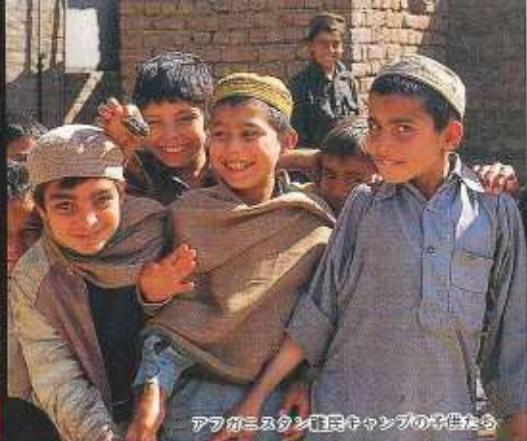
まい あと ■アートグラス  
「街なか」 by 長谷川千恵



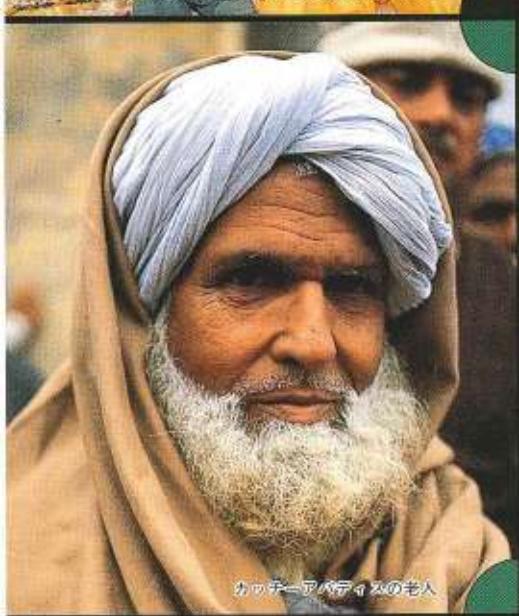
自然に出来た結婚式にて、新郎を待つ新婦



カッチャーパティスへの街頭



アフガニスタンのチャンプの子供たち



カッチャーパティスの老人

# パキスタン 回遊

貧富の差、男尊女卑が激しい国。また、アフガニスタンの難民を多く抱える国。カッチャーパティスというスラム街などなど。訪問者にはどうらえることが難しいパキスタンだが、その表情を本誌でおなじみの写真家・板橋一明氏(富士見町5丁目)がユニセフの協力をえてカメラにおさめてきた。今月はその一部をご紹介しよう。



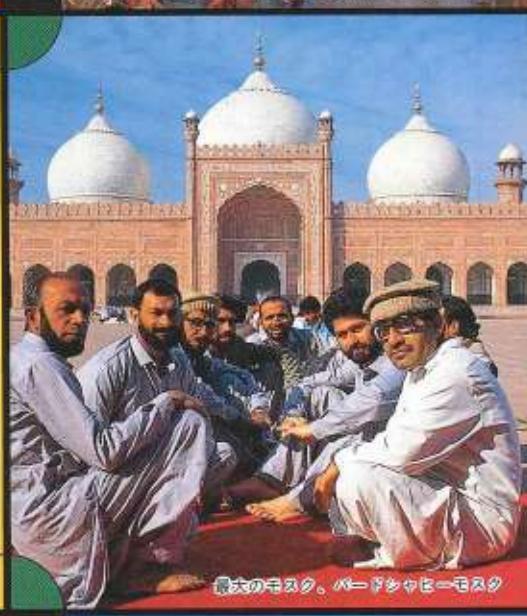
ヨー、夜のあそび商店カラチ市内の夜景



ラホール市内のバザール



カシミヤチャンプの出店前にて



最大のモスク。バードシャヒーモスク



中央高原、カリガル遺跡

## ことわざ 問答

3

漢字

一字

挿入せよ

よ

蜂

が刺す

す

る

蜂

を抜く

く

る

蜂

の

蜂

を抜く

く

る

第12回

# 我家は3代目

## 大正から平成へ箏を伝えて



不世出の名手・宮城道雄  
直門の文字が光る松柏会

「大師範」の免状はその前  
度が出来て第一回目のもの

老舗といい種類の重みという。それも3代づけば語り尽くせない物語がある。この街にも沈黙して静かなる物語のかずかずがそこここに隠されている。

おこと教室

**松柏会**

(柴崎町2丁目)

事は芸の道である。四代に亘つてひき継いできた箏の魅力とは何なのだろうか。奥義をきわめ新曲や作曲に挑む松柏会主宰者・松本ゆき子さん、ご母堂から仕込まれ宮城道雄に師事。愛娘の優子さんからお孫さんへ、また私立女子高校箏曲部の指導を通じて、その輪は拡がろうとしている。



先代・美根代さんが住みはじめた頃は、柴崎町界隈はまだ損が多かったという。大正、昭和、平成と三代にわたる立川の人。左から松本ゆき子さん、お孫さんの生ちゃん(小4)、愛娘・優子さん、お孫さんの千早ちゃん(小1)。